

あ い さ つ

京都府高等学校体育連盟
会 長 角 井 弘 之
(京都府立桂高等学校長)

令和元年度（平成31年度）京都府高等学校体育連盟「高体連誌第59号」の発刊にあたり、ごあいさつ申し上げます。

今年度も、加盟校・各専門部の皆様、並びに各競技団体をはじめ関係諸機関のご支援、ご協力を賜り、本連盟の各種事業を無事に終えることができましたこと、誌面をおかりし、心から厚くお礼申し上げます。

今年も、京都府選手団は、鹿児島県を中心（南部九州ブロック）に開催された全国高等学校総合体育大会をはじめ、全国高等学校定時制通信制体育大会、その他の体育大会において、団体種目では、洛南高校陸上競技部男子総合優勝を含め入賞数が30、個人種目でも陸上競技、ボート、レスリング、テニス、自転車競技、ヨット、フェンシング、定通陸上競技における13種目の優勝を含め入賞数が89となるなど、大いに活躍してくれました。また、第74回国民体育大会「いきいき茨城ゆめ国体」では、少年男女種別が原動力となり、7年ぶりに総合成績8位に入賞し、さらには、全国都道府県対抗女子駅伝競走大会においては、地元京都府チームが高校生の区間賞での走りを勢いに、見事に3年ぶりの優勝を果たすなど、高校生の若い力が京都府のスポーツ界を大いに元気づけてくれました。これもひとえに、競技力向上に向けてご尽力いただきました各競技専門部や各顧問の先生方のご指導の賜物と感謝申し上げます。

さて、いよいよ7月には2020年東京オリンピック・パラリンピックが開幕します。スポーツ熱がより一層の高まりをみせ、様々なシーンでスポーツの持つ「力」がクローズアップされることを期待しているところですが、本連盟といたしましても、京都府の高校生たちが、オリンピックイヤーにふさわしく、「もっと笑顔で、もっと元気に」スポーツと向き合い、素晴らしい人間力を身に付けることができるよう、加盟校、各競技専門部や各顧問の先生方のお力添えをいただきながら、関係者一同、力を合わせて取り組んでまいる所存です。

結びにあたりまして、各関係団体、関係機関の皆様方には、今後とも本連盟への温かいご支援とご協力を賜りますことをお願い申し上げまして、発刊のごあいさつとさせていただきます。